

- ① 《特集》社会生活基本調査でみえた「ボランティア」 ウォロ的勝手座談会
- ⑪ 《うおろ君の気にな～るゼミナール》
「ケアリーバー」って？
- ⑫ 《実録・市民活動「私のいちばん長い日」》
あの日を忘れない
～阪神・淡路大震災後27年を迎えて～
市川 斉（公益社団法人シャント国際ボランティア会 地球市民事業課長）
- ⑬ 《東日本大震災 互理発～現地から伝える「被災地の今」》
ミツバチから広がる出会いと交流の場
布田 剛（認定NPO法人地星社 代表理事）
- ⑭ 《V時評》
1.蔑ろにされる「地方自治の本旨」
—情報公開と個人情報保護をめぐる—
2.バーチャル空間に生まれるリアリティー
—メタバースと市民活動の親和性—
- ⑮ 《マーキーのオンラインファシリ術！》**最終回**
コロナ・キャンセルにさようなら
青木 将幸（オンライン会議ファシリテーター）
- ⑯ 《現場は語る～コーディネートの現場から》
「遊び」を起点に獣害対策
—中山間地域における関係人口との連携・協働—
土崎 雄祐（認定特定非営利活動法人宇都宮まちづくり市民工房 常務理事）
- ⑰ 《言葉 Part3 歴史の中のボランティア》**最終回**
私は二足のわらじを捨てて、今こそ私を必要とする
婦選に専念すべきだと決意した。（市川 房枝）
- ⑱ 《U35》
藪中 孝太郎さん（株式会社IC 代表取締役）
- ⑳ 《この人に》
高知 東生さん（俳優）
- ㉑ 《アゴラ/シネマ/ライブラリー》
あおみどりの木／「うむい獅子—仲宗根正廣の獅子づくり—」／書籍紹介
- ㉒ 《晴れ時々ボランティア》
椿 佳代さん（なごや防災ボラネット）



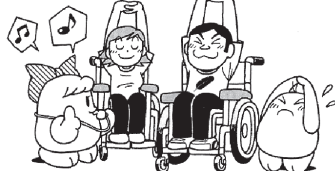
じぶんの町を良くするしくみ 赤い羽根共同募金

共同募金は、地域をつくる市民を応援していきます。

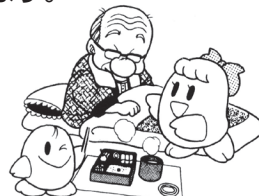
例えば……



地域で、子育てのお手伝いをしたり、悩んでいるお母さん、お父さんの相談にのる活動や、



障がいのある人が、まちで幸せに暮らせるお手伝いをする活動や、



地域で、1人暮らしや寝たきりの高齢者に、栄養の整った食事を届ける活動や、



地域に住むみんなが「安心・安全」に暮らすための活動や、

地域のいろいろな活動のために役立てられます。

- 新型コロナの影響で人と人が距離を取り、つながることが難しい状況ですが、つながることをあきらめず、孤立孤独の問題に取り組むことがこれからのwithコロナの社会づくりに大切です。今年度は中央共同募金会の全国共通助成テーマである「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」に重点を置き、withコロナ、ポストコロナに向けた社会づくりへの支援など先進的な事業を『重点助成テーマ』として福祉活動の支援を行ってまいります。
- 国内で大きな災害が発生した時は、共同募金は都道府県域を超えて、被災地で被災した人々を助ける活動の支援も行います。
- 寄付金には、税の特典があります。会社など法人の寄付金は、全額損金算入できます。個人の寄付金は、所得税の所得控除または税額控除、住民税の税額控除の対象になります。

※赤い羽根共同募金会では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、日常生活に困難を抱える子どもと家族をめぐる生活課題をはじめ、さまざまな福祉課題に対する取り組みを実施している団体・グループの活動を支援・助成するため福祉活動応援全国キャンペーンを行っています。

赤い羽根おおさか

www.akaihane-osaka.or.jp/
募金の使いみちはすべて、ホームページに掲載されています。

ボランティア活動を1年間に1日以上した人

26.0% ↘ 18.1%

1人あたりの年間ボランティア日数

34.1日 ↗ 42.8日



特集

社会生活基本調査でみえた

ウオロ的
勝手
座談会

ボランティア

【分析チーム】早瀬昇(解説文執筆)、華房ひろ子、山中大輔
【意見交換会参加者】早瀬昇、磯辺康子、筒井のり子、永井美佳、
華房ひろ子、増田宏幸、百瀬真友美、山中大輔
【座談文まとめ】磯辺康子、百瀬真友美

2022年8月31日、5年ぶりに「社会生活基本調査」の結果が総務省統計局から発表された。

「社会生活基本調査」は統計法に基づく「社会生活基本統計」を作成するための統計調査。1日の生活時間の配分や1年間の自由時間における主な生活行動(「ボランティア活動」の他、「学習・自己啓発・訓練」「スポーツ」「趣味・娯楽」「旅行・行楽」)について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにする基礎資料を得るために実施されている。

1976年以降、5年ごとに実施(集約結果の公表は翌年)。10回目となる今回は、約9万1千世帯に居住する10歳以上の世帯員19万人を対象に、2021年10月上旬から中旬に調査票を配布。調査日は「10月20日現在」で、10月下旬に調査票を回収した。過去1年間の状況を尋ねる質問もあり、コロナ禍での社会生活が示される注目の調査となった。

本誌編集委員会は、この調査の公表データから「ボランティア活動」について分析。分析者の解説を聞き、編集委員有志が自由に話し合う意見交換会を行い、座談形式で再構成した。ボランティアの状況や課題を深掘りするきっかけになれば幸いである。

コロナ禍前よりボランティアをする人が減る一方、平均活動日数が増えた

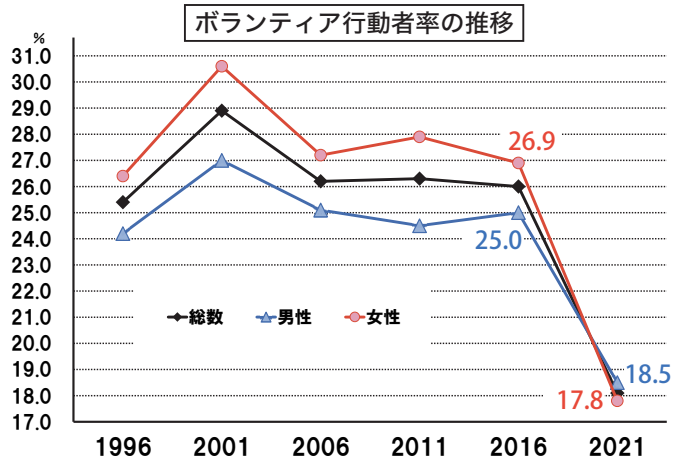
まず注目されるのがボランティア行動者率が過去最大の落ち込みとなったこと(①)。男女ともに大幅に低下している。ここで「ボランティア行動者率」とは、調査日である2021年10月20日からさかのぼって過去1年間(2020年10月20日から21年10月19日)に、次ページの表のようなボランティア活動を1日でもした人の比率をいう。新型コロナウイルス感染症の第3波から第5波が日本を襲っていた時期だ。コロナ禍で、ボランティア活動の機会が大きく損なわれたことがうかがえると共に、初めて男性の行動者率が女性より高くなったことも注目される。

一方、年間行動日数は、コロナ禍で海外渡航や来日外国人が減った国際協力関係を除くすべての活動で大きく増えている。この行動日数の平均と、行動者率の推移を一つの図にまとめたのが②だ。驚くことに、行動者率が過去最低となった21年、平均行動日数は過去最多となっている。

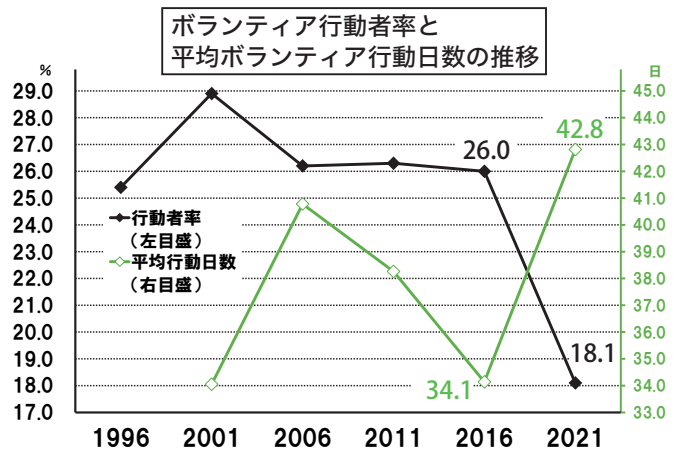
ボランティア活動以外の、学習活動やスポーツ、趣味、旅行などの行動者率を前回調査と比較したのが③だ。

ボランティア活動の減少率は30.8%だが、Go Toキャンペーンの実施にもかかわらず、旅行・行楽はさらに減少率が大きく32.7%減。一方、スポーツは3.3%減、趣味・娯楽は0.8%減とほとんど影響は受けず、学習・自己啓発・訓練は逆に7.3%増えている。

①

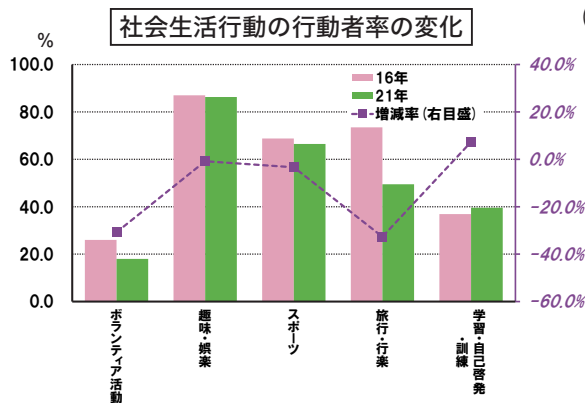


②



活動分野ごとの行動者数と行動日数の積算結果を合算し、全行動者数(行動日数が調べられていない「その他」を除く)で割って試算した。

③



A 2021年のボランティア行動者率の激減は、コロナ禍の影響で「さもありません」。ちなみに01年が高いのは、ボランティア国際年だからじゃないかと思えます。男性が初めて女性を上回った背景は、いろいろ考えられそうですね。細分化した分析があつたので、そこで議論しましょう。

B ボランティアをする人が減った一方で、年間の行動日数を1人当たりで算出すると②のように1人のボランティア行動日数は増えたとすよね。

A 「少ない人数で頑張った」説。ただ、その表現だと個々の活動で「ボランティアが減って残った人がある分まで背負った」イメージがあるけど、年に1回しかないような活動がコロナ禍でなくなったために、1人当たりの活動日数が増えたということかもしれない。

C ボランティア以外を含めた③もおもしろい。学習・自己啓発が増えた背後に、Zoomを一生懸

※A〜Dは意見交換会の内容を座談形式に再構成するため設定した発言者であり、特定の实在人物ではない。

〔注〕『ウォロ』2022年10・11月号（通巻545号）15ページ。大阪ボランティア協会ウェブページ「ボラ協のオフィシャルV時評」(https://osakavol.org/vinhyo/vinhyo202210_545_2.html)でも掲載しています。

調査から市民運動が除外されている問題

「社会生活基本調査」で「ボランティア活動」が対象となったのは2001年から。それまでは「社会的活動」という名称で「報酬を目的としないで、自分の労力、技術、時間を提供して地域社会や個人・団体の福祉のために行っている活動」が調査されていた。その中で、もっぱら他人のための活動の色彩の強いものを「社会奉仕活動」とし、婦人運動、市民運動等、自己を含む社会のための活動の色彩の強いものを「社会参加活動」として、両者が調査されていた。

しかし、本誌「V時評」で昨年紹介したように（注）、06年から「『自分を含む社会のための活動』の色彩が強いものは除く」として、市民運動などが除外された。ボランティア活動は制度改革などの運動とサービス提供活動を両輪とするものだから、この定義の見直しは必須といえる。

D 旅行とともにボランティアの減少率が大いなのは、自分の判断だけでできない面が大きいからじゃないですか？映画は家でも見られるし、ジョギングやオンライン学習も1人でできる。ボランティアの場合は基本的に相手があるから、活動先や活動場所が受け入れをストップしたら活動できない。

A スポーツで多いのは、ウォーキング、筋トレ、ジョギングの順。娯楽はCD・スマホの音楽鑑賞、映画館以外の映画鑑賞の順。やはり

1人でやるのが多いです。
B ジムが閉まっても運動は必要だから「ひとりでもできるスポーツをしくちゃ」となる。「ひとりでもできるボランティアに切り替えないと」にはなりにくいし、ハードルも高い。
C 自己責任でやれるかどうかの違いかな。活動することで自分が感染源になってしまう恐怖があったり、周囲でも自粛が多かった。
A 自宅で1人でできるボランティア活動もあるけど、他者との関わりや接触が伴うことが多い点で、他の行動とはちよつと違う。

【社会生活基本調査におけるボランティア活動の内容と例示】

①自発性（自らの意志に基づく行動）②貢献性（他の人々や社会の福利の向上を目的とした行動）③無償性（労働の対価〔報酬、賃金など〕を目的としない行動）の要件を満たすもの。ただし、宗教活動、政治活動、消費者運動、市民運動、権利主張や政策提言型の運動は含まない。

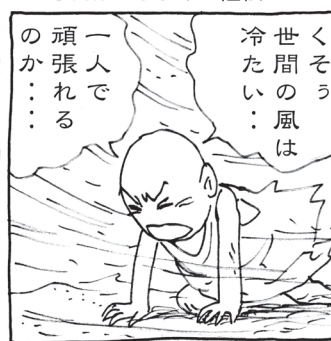
活動の種類	内容例示
まちづくりのための活動	町内会の世話、道路に花を植える、駅の自転車置き場の整理、道路・公園の清掃、都市と農村の交流、地域団体のリーダーとしての活動、村おこし・地域おこしの活動
子供を対象とした活動	PTA活動、赤ちゃん相談・子育てサロン、児童遊園地などでのレクリエーション指導、子供会や子育て団体の援助・指導、児童の学習指導、児童保育、学校行事の手伝い
安全な生活のための活動	地域の危険場所点検のための巡回、通学路の安全確保活動、交通安全運動、「火の用心」の巡回
自然や環境を守るための活動	リサイクル運動、廃油を使った石鹸作りの指導、海浜美化活動（ゴミ集め）、環境教育の活動、野鳥の観察・保護、砂漠の緑化活動（または植林活動）
スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動	スポーツ教室における指導、スポーツ会場の警備、各種講習会の開催、社会人大学の講師、美術館ガイド、音楽家・芸術家の育成支援、市民劇団の開催、演劇の鑑賞会の企画、伝統文化の継承と普及、郷土の歴史研究、調査研究・情報収集および提供、学会・研究会・勉強会の支援
高齢者を対象とした活動	高齢者と若者（子供）との交流の場づくり、高齢者へのレクリエーション指導および相手、生きがいつくりのための技能指導、ひとり暮らしの高齢者を家庭に招待、高齢者の見守り活動や散歩相手・話し相手、寝たきりやひとり暮らしの高齢者への給食サービス、介護サービス
健康や医療サービスに関係した活動	献血・献血活動への呼びかけ、巡回医療・診療、健康相談、薬に関するデータ提供、病院における活動（利用者サービスの向上のための協力、環境整備のための活動、入院患者の生きがいつくりの活動）
障害者を対象とした活動	盲児・肢体不自由者の学校などへの誘導、障害者の学習指導、障害者へのレクリエーションまたは技能指導、在宅障害者への友愛訪問・訪問介助サービス、障害者の社会参加協力（車イスの提供など）、点訳・朗読、レコーディング・手話などの奉仕、難病者への支援
災害に関係した活動	救援物資の確保・輸送、災害復旧のための資金の募集・現地での労力奉仕、炊き出しなどの災害時の救援、災害時の被災者への救援
国際協力に関係した活動	国際交流・国際親善、海外技術協力、海外への食糧援助、留学生支援
その他	人権相談、生活保護者の支援、情報システム技術の提供、消費者相談、上記に挙げる活動を行う団体の運営または活動に関する連絡、助言、または相談の活動

出典：「令和3年社会生活基本調査 調査票の記入のしかた」（調査票A）15ページ、23ページより編集委員会まとめ。表記は原文のまま。
(https://www.stat.go.jp/data/shakai/2021/pdf/kinyua.pdf 2023年1月28日閲覧)

Vol. 128

「ケアリーバー」って？

うおろ君の 気にな〜る ゼミナール



ケアリーバー (care leaver) とは、児童養護施設や里親などの社会的養護関係施設・事業のもとで生活した経験のある人たちのことをいう。

厚生労働省の委託研究(注)は、ケアリーバーの厳しい暮らしぶりを明らかにしている。何よりも、施設や児童相談所が退所後の状況を把握できていない。調査は、2015年度から19年度の間、中卒以上で退所した若者を対象としたものだが、35%にしか配布できなかったそうだ。

回答の内容をみても、20%以上が、自立後の家計が赤字である。とりわけ、子どもがいる場合、40%にまで上昇している。

一方で、直近1年間の施設等との連絡状況では、「2〜3か月に1回以上」の割合が最も高く30%となっている。「月に1回以上」も20%ほどあるが、「1年間に1回もない」が15%程度ある。居所等は把握できていても、児童相談所、施設等とのつながりが深くない状況が浮かび上がる。

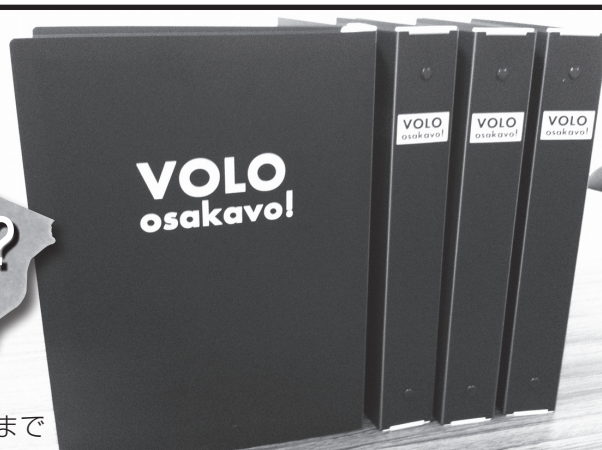
住宅の確保、就労の継続、生活費の管理、適切な医療の受給。ケアリーバーの多くは、これらを自分で行わなければならない。24年度からは、支援期間の年齢制限がなくなるが、退所後も両者がつながっていないければ、必要な支援を行うことはできるはずもない。

関西大学教授 山縣文治

(注)三菱UFJリサーチ&コンサルティング(2021)「児童養護施設等への入所措置や里親委託等が解除された者の実態把握に関する全国調査【報告書】(令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業)」
https://www.rnrc.jp/wp-content/uploads/2021/04/koukai_210430_1.pdf

ウォロ・バインダー、 いかがでしょうか?

ウォロ2年分(12冊)を
挟み込めるバインダー
(1冊500円+送料350円)です。
お問い合わせはウォロ編集部/office@osakavol.orgまで



U35

第36回

いま若手起業家が熱い！これからの社会を担う35歳以下の社会起業家、その若さあふれる「実像」に迫ります。思いを行動に移した若き起業家たちの「物語」には、きっとあなたにも伝わる「熱さ」があります。

株式会社IC **敷中 孝太郎**さん

株式会社 IC

大阪府大阪市西成区鶴見橋1丁目16-12 電話 06-7708-2445

個別指導制学習塾 IC next を2012年にスタート。教育 (Education) × テクノロジー (Technology) を組み合わせた事業をする Edtech 企業として、最新のテクノロジーを活用した ICT 教育を実施するとともに、地域密着型のアットホームな学習塾として各生徒の個性に寄り添う教育を実践している。

学びに寄り添う人々をもっと増やしていきたい

「なんで真剣に勉強を
しつづける？」と揶揄される

2012年、敷中さんは進学した法科大学院を辞め、翌年、別の研究科を受験することにした。受験まで1年のブランクができたので、大学院浪人生や資格勉強の仲間と作ったのが個別指導学習塾 IC next である。自分たちも院受験や資格試験の勉強のためにスペースが必要だった。仕事も勉強もでき一石二鳥だと考え、大阪市西成区にある祖父が営んでいたたばこ屋を改装し、同年、学習塾をスタートさせた。

西成区は、大阪市内の治安ランキングで24区中21位(大阪府警調べ)。祖父は、店の前の自動販売機を開けるときを狙われて強盗に遭ったこともある。そんな地域で学習塾を始めたが、教育環境を変えるのはなかなか難しいと実感することが多いそう。

例えば、勉強についての価値観が違う子がいる。敷中さんは、たばこ屋から自転車ですら5分ほどの隣接区出身。敷中さんの周囲では、まったく勉強しない子の方が珍しかったという。一方、塾に来る生徒は、試験勉強をする習慣すらなかった子も多い。塾近隣では中・高校の定期試験の前にクラブ活動が休みになると、その期間に公園で遊ぶ姿

が見られる。それでは意味がないとして、クラブを休まない学校も出てきているそう。敷中さんには「勉強しないとあかんよ」という感覚も乏しい。敷中さんはそれはそれでよいと思っていたが、大阪府で私立高校の授業料が実質無償化となった頃から考え方が変わった。勉強の苦手な子が地元の商業・工業高校を目指さなくなり、受験が楽な私立高校に行くようになったからだ。スポーツ推薦など、一般的な入試を受けずに進学する子も増えた。中学校3年の11月ごろには「もう俺ら高校に行けるから」という集団が大半を占めるため、真面目に勉強をして高校に行くという感覚になりづらい。「普通、学校で勉強ができなくて揶揄されることはあるかもしれませんが、このあたりでは逆。「なんで真剣に勉強してんの？」と揶揄されます」と話す。

新しいビジネスモデル への展開

IC nextには中学生50〜60人、高校生が10〜20人の合わせて70人ほどが通っている。今後は新しいビジネスモデルを展開していく予定だ。それは、月額1万円で通える塾。大阪市の塾代助成カード(注1)を利用すれば実質0円となる。

それを可能にするのが、独自のLM



右/スタッフには塾の卒業生もいる
下/IC nextの個別指導は一つの
テーブルを囲むスタイル

写真は全て株式会社IC提供





S（注2）で全教科の授業コンテンツをアニメーション化したツールだ。実在の先生をモデルにしたキャラクターが進める良質な授業を、タブレットなどで受講できる。学生は、自分の学力に合わせて問題を解き進めていく。先生が生徒一人一人の学力を把握し指導にあたるのはICNextと同じだが、行うのは教科教育ではなく、学習の仕方や習慣を身につけるための「学習指導」だ。生徒は週1回の学習指導時以外でも、自習スペースに通いオンラインツールで学ぶことができる。昨年春に試行したところ、先生が一人一人に教科教育をするのと成績はほぼ変わらないか良いという結果だった。学

習の仕方や習慣を身につけるサポートがあれば自分で解き前に進む力がつくからだ、藪中さんは考えている。

みんなで同じ授業をするのに意味があるのか？

「クラスでみんな同じ授業をするのに興味があるのかなと疑問に感じています。学力の二極化が進んでいて、きちんと予習してくる子と、授業を聞く基礎知識がない子に分かれているので。一人一人の学力や学びのつまずきに対応するには、ベテラン教員が仕組みが必要です。ベテラン教員はすぐに量産できないので、新しいサービスモデルを作りました」と語る。

2023年から、この新サービス「Next School」を提供するため、西成区にもう1店舗をスタートさせる。西成区の中学校の在籍生徒数は3学年で計120、150人ほど。現在の塾生が約70人なので、2店舗になることで中学校1校分の影響力を持つことができる。そうすれば、教育環境を面で変えることができるのではないかと藪中さんは考えている。何を変えたいのか尋ねると「なんで真剣に勉強してんの？」と揶揄する文化をなくしたい、と返ってきた。高卒後就職という選択もしやすい公立を避けて簡単



藪中 孝太郎さん
株式会社IC 代表取締役

1988年生まれ。大学院在学時に、大阪市西成区の祖父のたばこ屋を改装して、個別指導制学習塾を立ち上げる。教材制作にかかる時間の短縮を図ると共に「教材費の削減」をし、厳しい環境の中で市販の教材を購入できない子どもたちにも良質な教材を届けることができる仕組みとして「みんなで創る教材データベース Ecommons」を公開。その後もオンラインツールを活用した教材の開発に取り組んでいる。

に入学できる私立高校に進学し、その先で苦労する子は多い。私立高校卒業後、周りに合わせて専門学校か大学に進学する。学費を支払うために借金をして大学に通った卒業生もいる。大卒という肩書きと引き換えに借金を背負わせて、社会に送り出すのはどうなのか。「子どもたちも最初は公立の商業・工業高校に行きたいと言っているのです。だったら、そこに入れる学力をつけて、商業・工業高校で専門性を学んだ子が好きな進路を選べるようにする。そうやって進路の幅を広げていきたいと考えています」と語る。

子どもたちと一緒に学ぶのは先生じゃなくてもいいのではないか？

「Next School」を考える

きっかけとなったのが、子どもたちと一緒に学ぶのは先生じゃなくてもいいのではないか、と思ったことだそう。勉強ができる先生だけが教えるのではなく、身近な先輩や大学生などを幅広く巻き込む方が教育の質は上がるのではないかと考えている。

「全国で良い先生の授業をアニメーション化して教科教育の質を担保し、もっと子どもの学ぶ力の獲得に働きかける時間を増やした方がいいのではないかと思っています。日々の授業に追われて教科教育に力が入ると、その対応ができません。子どもたちの学びに寄り添う人々を増やしていきたいです」と語る。

編集委員 久保友美

（注1）学習塾や家庭教師、文化・スポーツ教室等の学校外教育にかかる費用について月額1万円を上限に助成する大阪市の事業。市内在住中学生の約5割が対象となっている。（注2） Learning Management Systemの略。eラーニングを実施する際のベースとなるシステム。

「あおみどりの木」

近 辺の人たちに限らず、あのような場所ので集いたい人たちは、みなさんつながっているのではありません。よくぞリノベーションしてくれたと……」。あおみどりの木の店長、當舖すみれさんと親しい版画家は、こう話す。

昔も今も那覇市の商業地として多くの人が行きかう浮島通り。この地に薬剤師だった祖父が開いた神谷薬局は五角形の店舗兼住宅。1952年落成の赤瓦木造総2階建てだ。近代的なビルが立ち並ぶ現在の那覇市内では、こんな昔の建物が急速に姿を消しつつある。薬局としての営業を93年に終え、他業態への貸し出し後、数年間は閉じられていた旧薬局にも、家族のなかで取り壊しの話が出ていた。だが建物内で偶然見つけた一枚の写真がきっかけになり、すみれさんの気持ちは変わる。「かっこいい!」。祖父の姿も見える開業当時の白黒写真には、2階の柵や窓枠を配した瀟灑な外観が写っていた。この姿に戻せるなら……。写真に後押しされ、改築に取りかかったのは2019年の春。アート関係者とのつながりも多いイラストレーターのすみれさんは、ギャラリー兼フリースペースとしての活用を考えついた。

隣家とのすき間の外壁に残る開業当時の塗装色が青緑色だったことに気づき、この色を新しい外壁に塗った。それを見た幼稚園児の長男が「あおみどりの木だね!」といったことから店名も決まり、20年9月にオープン。内装は旧薬局の持ち味を生かすための古材を用い、建築学科の学生らも協力して琉球伝統の漆喰を塗るなど、技術継承の場にもなった。

「建物を残すことは、風景や土地、人の記憶を守ること。アートを媒介に世代をこえて集える場にしたいですね」。すみれさんの思いだ。

編集委員 村岡正司



提供 (全て) = あおみどりの木
あおみどりの木 沖縄県那覇市松尾2-19-10
電話 098-863-3730 不定休



古材の柱が印象的な2階のギャラリー



當舖すみれさん



旧神谷薬局 (左) とリノベーション後の外観。2022年、第8回 沖縄建築賞奨励賞を受賞



映画宣伝おばちゃん

松井寛子 著
零号出版、2022年11月
3000円 (税・送料込)



購入申し込み方法はQRコードからご確認ください

近 年のネットでの映像配信の普及や、コロナ禍の影響もあり、全国のいわゆるアート系・独立系の映画館はここ20年で4分の1が閉館した。大手のシネコンが幅をきかせ、ドキュメンタリーや社会派の作品は苦境を強いられている。

そんな中、奮闘している「映画宣伝おばちゃん」が大阪にいる。映画関係者なら知らぬ人はいない松井寛子さん、通称「カンコさん」である。フリーランスで映画宣伝に携わり、関わった作品は35年で約600本にもものぼる。日本で唯一ともいえる存在だ。

「私、休日は映画館の真っ暗いトコよりハイキングが好

きな。そんなにたくさん映画観てへんし」と、あっけらかんと語る彼女。

よくある「人生を変えた作品は？」との質問には、「人生を変えた映画は無いねん。でも、人に変えられてん」。その言葉通り、彼女の営む大阪市淀川区の居酒屋「風まかせ人まかせ」は、映画分野だけでなく、報道・芸術・市民活動関係者ら、多彩なオモロイ人たちがごちゃまぜになつてつながり刺激し合う場となっている。

本書は、そんな彼女のジェットコースターのような波乱万丈の人生と、数々の映画関係者との泣き笑いの軌跡を赤裸々な語り口でまとめた

一冊である。

巻末に掲載された、今まで携わった映画リストの長さ。そうそうたる著名映画人から彼女への、愛情とユーモアあふれるメッセージ。圧巻である。

最後に、彼女のような普段は表に出ない裏方の映画人の本を作りたいという一念で、今回この企画のために出版集団を立ち上げたジャーナリストの今井一氏ら零号出版の人たちの努力と、クラウドファンディングで市民発の映画文化を支援した229人の方々へ、敬意を表したい。

編集委員 大門 秀幸

切だが、生身の人間である撮影対
れる。その要求に応えることも大
た。特にドキュメンタリーにおい
れる今の風潮にうんざりしてい
れ、肩書きや技術、作家性で語ら
ては作り手の主張や主義が求めら
た。当時の僕は、映画であれ何であ
でいる。

昨年9月に本作が東京で劇場公
開された。公開初日、僕は監督の
城間あさみさんと上映後に対談し
た。その時に、城間さんを同志の
ような人だと共感していることを
話した。僕はこのような作品が劇
場で公開されたことを心から喜ん
でいる。

本 作は、沖縄で親しまれてい
る獅子舞の獅子頭を木彫刻
師の仲宗根正廣さんが新たに制作
する様子と、獅子舞の伝承文化を
描いている。



今月の作品 「うむい獅子」
— 仲宗根正廣の獅子づくり —

監督：城間あさみ 製作・配給：海燕社
2022年 | 日本 | 58分 | ドキュメンタリー
上映情報 http://kaiensha.jp/umuijishi_schedule.html
DVD 販売 個人視聴用 3,300円 (税込)
ライブラリー用 24,200円 (税込)
海燕社ウェブサイト販売中

象者を差し置いて、作品や作り手
が一人歩きしていくのには違和感
があり、どうしてもなじめなかつ
たのだ。それは作り手である自分
にとってもジレンマであった。

その点、「うむい獅子」は潔かつ
た。工芸技術記録映画のように、
伝統工芸の作家の制作工程を追い
かける構成でありながら、沖縄の
獅子舞をめぐる民俗文化の映像記
録でもある。思いを獅子舞に託す
伝承者たちのすがたを丁寧に拾い
集め、登場させることも怠らない。

象者を差し置いて、作品や作り手
が一人歩きしていくのには違和感
があり、どうしてもなじめなかつ
たのだ。それは作り手である自分
にとってもジレンマであった。

それ何より、映像の作り手たち
の技術や作家性が強調されないの
だ。仲宗根さんや獅子舞の伝承者
たち、そして映像の作り手たちの
謙虚な姿勢が一体化し、皆が獅子
頭に託す思いを共有しているかの
ようだ。それは戦後に制作された
する。

本作を制作した海燕社は「海燕
社の小さな映画会」と称して、国
内外のさまざまなドキュメンタ
リー映画を定期的に紹介し、上映
会に参加した人たちの感想を毎回
ネットに公開している。映画を作
るに当たり対象者と思いを共有す
るだけでなく、映画を観てもらっ
たお客さんとも感想を共有するこ
とを大切にしている。主催者側と
しては手間がかかることだが、そ
ういうことを丁寧にかつ大切に考
える海燕社の姿勢には大いに共感
する。

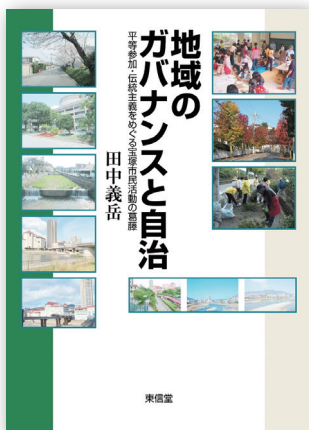
獅子頭を使い続けながら、次世代
にその思いを引きつぐつとする歴
史への敬意とも重なってくる。映
像で記録する、表現することを通
じて得られるものがこの作品には
あふれていると感じた。

●今月の館主

いまい ともき
今井 友樹



1979年岐阜県生まれ。日本映画学校(現・日本映画大学)卒業後、日本各地の基層文化を映像で記録・研究する民族文化映像研究所に入所。所長の姫田忠義に師事し、映像制作に関わる。現在、株式会社工房ギャレットの代表を務める。



地域のガバナンスと自治
平等参加・伝統主義をめぐる宝塚市民活動の葛藤

田中義岳 著
東信堂、2019年7月
3740円 (税込)

著 者である田中義岳氏は
兵庫県宝塚市の行政職
員だった時代に、自治会主体
だった旧来の地域コミュニ
ティーの在り方を解体し、ま
ちづくり協議会という新たな
基礎を築いた。まさにこの分
野におけるパイオニアであ
る。氏が市民の平等参加、多
様性、自律性・自発性の喚起
をうたい2001年につくり
上げたまちづくり計画は、全
国の自治体に大きな影響を
与え続けている。

「自分たちのまちは自分た
ちでつくる」。同市のまちづ
くり協議会政策は、すべての
住民を巻き込んで、住民自治
を団体自治に反映しようとす

ることで、地域自治の総合力
アップを図ってきた。本書は、
前半部でそんな氏の業績を振
り返っている。

ところが後半部、話の流れ
は一転する。06年、氏が定
年退職すると同時に、積極的
に改革を進めてきた当時の市
長の汚職が発覚し辞任。新た
な市長はまちづくり協議会政
策を継承せず、まちづくり計
画もストップしてしまう。さ
らに09年に就任した市長も、
自治会連合会主体の体制に
よる「真逆の復古政策」路
線を継承、まちづくり協議会
は衰退の一途をたどること
になったのである。

方針変更の背景にある行政

の内部事情はよく分からない。
何が正義なのかも判然とし
ないが、本書の後半で「真
逆の復古政策」に対する恨み
つらみが語られ、一部がうか
がい知れる。それはそれで興
味深いのだが、重要なのは
トップが変われば全てが変わ
るといふ勤め人の悲哀と混乱
がどこにでも存在し、ひいて
は住民に影響するということ
か。

研究書であると同時に、「今
だから書ける苦労話」を加味
した生きた教科書でもあるこ
とがこの本の値打ちだ。そし
て読者は政策の継承がいかに
難しいかを学ぶことになる。

編集委員 杉浦 健